# 様式2【後期】

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス 小・中学校 国語科 教科指導研修

# 1 研修日程

(研修者:小学校89人、中学校48人)

		「川崎伯・小子似のサバ、	中于似在6八)
期日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日	9:00~ 9:30	受付 6/20<総合教育センター大講義室前>	総合教育センター
<aグループ></aグループ>		6/24<総合教育センター視聴覚室前>	6/20 大講義室
6月20日	9:30~ 9:45	オリエンテーション	6/24 視聴覚室
(金)	9:45~10:30	【講義:国語科における今日的課題】	
<bグループ></bグループ>		総合教育センター研究指導主事	
6月24日	10:30~11:00	移動(レポート丁合を含む)	
(火)	11:00~12:00	【研究協議 I:「読むこと」に関する「主体的・対話	第5講義室
		的で深い学び」の実現に向けた学習指導について】	第7講義室
		小学校部会講師 小学校教諭(2名)	第8講義室
1 -1 - <del>24</del> /% <del>H</del> H		中学校部会講師 中学校教諭(1名)	
小中・前後期	12:00~13:00	休憩	
合同	13:00~16:10	【研究協議Ⅱ:「読むこと」に関する「主体的・対話	第1講義室
2グループに		的で深い学び」の実現に向けた学習指導について】	第2講義室
分けて開催		小学校部会講師 小学校教諭(5名)	第3講義室
		中学校部会講師 6/20 中学校教諭(2名)	第4講義室
		6/24 小学校教諭(1名)	第5講義室
		中学校教諭(1名)	第7講義室
			第8講義室
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り(振り返りシート記入) 諸連絡	
佐 0 口	0.00 0.00		<b>炒入地</b> 去しいた
第2日	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター講堂前>	総合教育センター
8月8日 (金)	9:30~10:00	オリエンテーション	講堂
(金)	10:00~12:30	【講義:求められる資質・能力と小中学校国語科の授	
		業と評価】	
小中合同で		講師 大学教授	
開催	12:30~13:30	休憩	
用压	13:30~16:10	【研究協議:「主体的・対話的で深い学び」の実現に	第1講義室
		向けた授業改善の実践報告】	第2講義室
		小学校部会講師 小学校教諭(5名)	第3講義室
		中学校部会講師 中学校教諭(2名)	第4講義室
			第5講義室
			第7講義室
			第8講義室
	10.10 10.20	<b>歩い化送がゆったいにい(だいにい)</b> 1 =1 1 \	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り(振り返りシート記入)   諸連絡	

# 2 連絡事項 (課題等)

連絡事項	第1日	【研究協議Ⅰ・Ⅱについて】
	\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	2
(課題等)		・中堅教諭等資質向上研修前期研修者とグループをつくり、前期研修者の学
		習指導について検討する。
		【持ち物について】
		・学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編(所属校種のもの)
		【課題及び提出について】
		・なし

#### 第2日 【持ち物について】

- ・課題レポート 6部
- ・課題作成に使用した教科書

【課題及び提出について】

- ・提出課題 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の実 践報告」
- ・課題様式 「3 課題様式(記入例)」参照
- ·提出期限 令和7年7月4日(金)必着
- ・提出方法 郵送または持参 3部 (当日持参 6部)

## 3 課題様式(記入例)

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 小・中学校国語科

受講番号 テーマ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の実践報告

1 単元名と実践学年

(章立ては、左記のとおりとする)

2 実践のねらいと手だて(※1)

個人情報の取り扱いに十分留意し、特に児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。

- 3 実践の内容(※2)
- 4 成果と今後の課題(※3)

#### 【課題作成上の留意点】

- (※1)「2 実践のねらいと手だて」においては、児童生徒のどんな 資質・能力を育成するための取組か、そのためにどんな手だて を講じたかを明らかにして書く。
- (※2)「3 実践の内容」においては、単元の全てを記載するのではなく、「2 実践のねらいと手だて」を踏まえて、重点的に記述する。
- (※3)「4 成果と今後の課題」においては、児童生徒の学びや姿から、本実践の成果を記載する。その一方で、実践を通して明確になった更なる課題についても記述する。また、本実践だけでなく、日頃の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組の中で、課題や疑問、明らかにしたいこと等について記述してもよい。
- (注)・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
  - $\cdot$  A 4 判縦長横書き。枚数は 1 枚(2 ページになるときは両面印刷とする)。
  - ・字の大きさは、10.5ポイント。
  - ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

## 4 課題送付先

**7470-0151** 

愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地 愛知県総合教育センター学校支援研究課教育推進G(杉山) 宛て

※封筒の表左隅に「中堅教諭等資質向上研修【後期】小・中学校国語科課題在中」と朱書きする。

#### 5 問い合わせ先

担当 学校支援研究課教育推進G(杉山) 電話 0561-38-9503(ダイヤルイン)